

立体感・ボリューム感のある唇をつくるヒアルロン酸は加齢とともに減少 ワレモコウエキスに唇のヒアルロン酸を増やす効果

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：釘丸和也）は、

- ① 加齢にともない唇にある真皮のヒアルロン酸が減少すること
- ② 唇のヒアルロン酸は、「ワレモコウエキス」によって増やすことができること

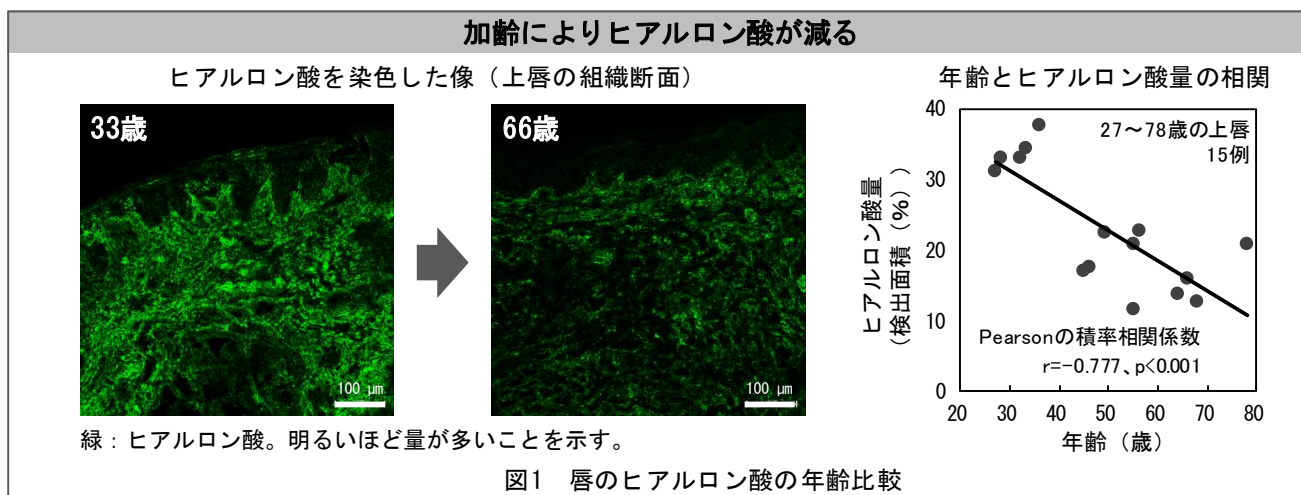
を発見しました。ワレモコウエキスを配合した唇用の化粧品を使用することにより、立体感・ボリューム感のある魅力的な唇につながることを期待されます。

本成果は、今秋に発売されるポーラの商品をはじめ、ポーラ・オルビスグループの商品に活用される予定です。

年をとると唇のヒアルロン酸は減ってしまう

唇の真皮には、周辺の皮膚と同じようにヒアルロン酸が多く存在します。ヒアルロン酸は多量の水分を抱え込み皮膚にボリュームやハリ・弾力を与える生体成分です。これまで、皮膚では加齢によりヒアルロン酸が減ってしまうことが知られていましたが、唇については明らかにされていませんでした。

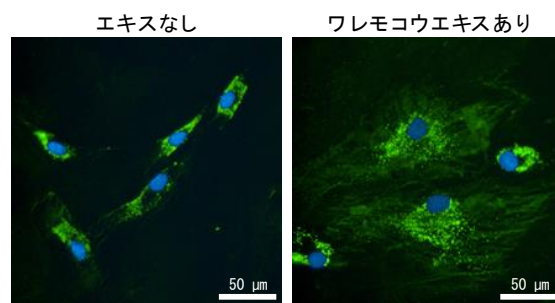
今回、20～70代の女性の唇の組織断面でヒアルロン酸を比較したところ、加齢にともない真皮のヒアルロン酸が少なくなってしまうことが明らかとなりました（図1）。したがって、年齢を重ねた唇では、ヒアルロン酸が減ることでボリュームが損なわれてしまうのだと考えられます。



唇のヒアルロン酸を増やすワレモコウエキス

唇の真皮に由来する線維芽細胞を用いてヒアルロン酸の産生を高める成分を探索した結果、ワレモコウ（学名 *Sanguisorba officinalis*）から抽出したエキスが高い作用を発揮することを見出しました（図2）。本エキスにより唇のヒアルロン酸が増えることで、より立体感・ボリューム感のある魅力的な唇に導くことができると期待されます。

ワレモコウエキスがヒアルロン酸を増やす



緑：ヒアルロン酸、青：細胞の核

図2 ヒアルロン酸産生促進作用